

平成28年度 県立芦屋特別支援学校 学校評価[自己評価]結果(前年度との比較、保護者アンケート結果との比較)

(4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない 0:わからない)
達成率(よくできている+できている)80%以上A判定 70%以上B判定 60%以

領域	評価の観点	評価項目	実践目標 (自己評価)	H28実現度%					H28自己評価結果			H27自己評価結果					H28わからないを除く%自己評価結果					H28わからないを除く%保護者評価結果											
				よくできている	できている	あまりできていない	できていない	わからない	達成率%	評価	評価の平均	達成率%	評価	評価の平均	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	わからない	達成率%	評価	評価の平均	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	わからない	達成率%	評価	評価の平均			
学校運営	安全安心に学べる学校づくり	防災教育の推進	1 避難訓練(地震・火災・津波)等実践的な取り組みを通して、児童生徒の実態に応じた防災教育を進める	18%	72%	6%	2%	0%	90	A	3	89	A	3.1	18%	74%	7%	2%	92%	A	3.1	1	35%	56%	8%	1%	91%	A	3.3				
			2 日常の丁寧な行動観察や生活アンケート(中・高)を通して、早期対応のための児童生徒の状況把握に努める	13%	71%	10%	2%	4%	84	A	2.9	83	A	2.8	13%	74%	11%	2%	88%	A	3	2	57%	37%	5%	1%	94%	A	3.5				
			3 学校の立地条件を踏まえ、在籍児童生徒数の増加の実態に応じた防災・避難体制を整える	10%	59%	23%	3%	4%	70	B	2.7	82	A	2.9	11%	62%	24%	3%	73%	B	2.8	3	38%	56%	5%	1%	94%	A	3.3				
			4 定期的な安全点検を行い、要補修箇所及び、必要な備品等への速やかな対応を通して安全で安心して過ごせる環境を整える	17%	65%	12%	2%	4%	82	A	2.9	87	A	2.9	18%	67%	13%	2%	85%	A	3	4	38%	55%	5%	2%	94%	A	3.3				
			5 行方不明児童生徒に関する資料の作成及び随時更新、スクールバスの避難訓練の実施を通して、緊急態勢に備える	24%	66%	5%	1%	4%	90	A	3	87	A	2.9	25%	69%	6%	1%	94%	A	3.2	5	33%	58%	8%	1%	92%	A	3.2				
			6 個人情報の管理が適切に行われるよう環境整備を行い、流出の防止に努める	17%	65%	12%	1%	5%	82	A	2.9	81	A	2.9	18%	69%	12%	1%	87%	A	3												
			7 年度当初の心肺蘇生法・AED講習会及び学年ごとに具体的な事例を設定した緊急対応シミュレーションを実施し、危機管理意識を高める	35%	61%	2%	1%	2%	96	A	3.3	92	A	3.1	35%	62%	2%	1%	97%	A	3.3												
			8 熱中症及び感染症の流行期に具体的な対策を講じると共に、日常的な衛生指導を進め、安全意識・危機管理意識を高める	29%	62%	6%	1%	2%	91	A	3.1	88	A	3.1	30%	63%	6%	1%	93%	A	3.2												
			9 食物アレルギー等給食の個別対応が必要な児童生徒の対応状況について共通理解を図る	24%	62%	11%	0%	4%	86	A	3	83	A	2.9	24%	64%	11%	0%	89%	A	3.1	6	47%	52%	1%	0%	99%	A	3.5				
	学校からの発信の充実	10 通信、連絡帳、授業参観、行事参観等を通して保護者と日常の教育活動についての情報共有を十分に行う	33%	60%	3%	1%	3%	94	A	3.2	94	A	3.2	34%	62%	3%	1%	96%	A	3.3	7	54%	41%	4%	1%	95%	A	3.5					
		11 個人情報や著作権に配慮し、学校だよりやホームページ、掲示板等を通じて、本校の教育活動の情報発信を十分に行う	25%	64%	7%	1%	3%	89	A	3.1	93	A	3.1	26%	66%	7%	1%	92%	A	3.2	8	32%	60%	8%	0%	92%	A	3.2					
		12 オープンスクールや学校行事、学校見学会等を通して、本校の教育内容について地域に情報提供する	27%	64%	4%	1%	5%	91	A	3.1	94	A	3.1	29%	67%	4%	1%	96%	A	3.2	9	53%	43%	4%	0%	96%	A	3.5					
		13 インクルーシブ教育システム構築を見据えたセンター的機能の充実	19%	53%	10%	1%	17%	72	B	2.6	70	B	2.5	23%	64%	12%	1%	87%	A	3.1	11	25%	54%	19%	2%	79%	B	3					
訪問教育	子どもたちに力をつける授業、個々を細かく見つける事例研究の充実	14 保護者や医療関係者との連携を十分に図り、個々のニーズに合わせた教育活動を進める	30%	46%	4%	1%	19%	76	B	2.6	86	A	2.9	37%	57%	5%	1%	94%	A	3.3													
		15 施設等の関係者と連携して児童生徒の実態把握に努め、生活年齢や健康状態に配慮した教育活動を推進する	29%	45%	3%	1%	22%	74	B	2.6	82	A	2.8	37%	59%	3%	1%	96%	A	3.3													
教育課程	子どもたちに力をつける授業、個々を細かく見つける事例研究の充実	16 日常生活に必要な生活スキルの獲得を目指した指導を行う	24%	49%	2%	1%	25%	73	B	2.5				32%	65%	3%	1%	96%	A	3.3	12	31%	56%	10%	3%	87%	A	3.2					
		17 一人ひとりの実態を踏まえた学習活動を計画的に実践すると共に、仲間意識を育み、集団作りを進める	22%	53%	3%	1%	21%	75	B	2.5				29%	67%	3%	1%	96%	A	3.2		21%	49%	23%	7%	70%	B	2.8					
		18 作業学習のねらい、段階表、評価表を作成し、社会自立を目指した授業づくりを行う	18%	53%	8%	2%	18%	72	B	2.5				22%	65%	10%	3%	88%	A	3.1		25%	43%	29%	2%	68%	C	2.9					
		19 わかる授業・楽しい授業「生活」につながる力を高める授業	11%	63%	18%	3%	5%	74	B	2.7				12%	66%	19%	3%	78%	B	2.9													
教育課程	子どもたちに力をつける授業、個々を細かく見つける事例研究の充実	20 授業改善につながる事例研究に特化した研究を進める	13%	58%	19%	3%	6%	72	B	2.7	90	A	3	14%	62%	20%	3%	77%	B	2.9													
		21 専門性向上と課題解決をめざす研修体制を充実させる	13%	60%	19%	1%	7%	73	B	2.7	75	B	2.6	14%	64%	21%	1%	78%	B	2.9													
		22 観測別評価・評価項目の作成個に応じた教育内容、教育課程、集団編成の見直し	13%	60%	19%	1%	7%	73	B	2.7	75	B	2.6	14%	64%	21%	1%	78%	B	2.9													
		23 アセスメントを適切に行い、個別の指導計画において目標・指導の手立てを明確にした上で授業づくりを活かす	11%	65%	18%	2%	5%	76	B	2.8	82	A	2.8	11%	69%	19%	2%	80%	A	2.9	13	55%	38%	6%	0%	93%	A	3.5					
		24 個別の指導計画の記載内容を充実させ、指導に生かすことができるようにする	13%	68%	14%	1%	3%	82	A	2.9	82	A	2.8	14%	71%	14%	1%	85%	A	3													
		25 合理的配慮についての周知徹底を図り、個別の教育支援計画に明記することで、情報共有に努める	12%	60%	22%	2%	4%	72	B	2.7	90	A	3	13%	62%	23%	2%	75%	B	2.9													
課題教育	合理的配慮の提供を見据えた教育実践	26 校内、校外における合理的配慮の提供(校内におけるユニバーサルデザイン)	11%	52%	16%	1%	20%	63	C	2.3				13%	65%	20%	1%	79%	B	2.9													
		27 関係機関と連携した校内支援、ケース会議等の充実	17%	57%	7%	2%	18%	73	B	2.5				20%	69%	9%	2%	89%	A	3.1	14	32%	56%	10%	2%	88%	A	3.2					
		28 福祉・行政等関係機関のキーマンとの連絡を密にし、必要に応じて連携ケース会議を持って情報共有、意見交換を行うことで、より良い支援体制の構築を目指す	17%	57%	7%	2%	18%	73	B	2.5				20%	69%	9%	2%	89%	A	3.1		31%	56%	11%	2%	88%	A	3.2					
		29 各学部・学年における具体的な指導内容について関連教科領域部会において情報交換を行い、授業実践に生かすと共にキャリア教育への教員の意識を向上させる	9%	63%	16%	1%	11%	72	B	2.6	65	C	2.5	10%	70%	18%	1%	81%	A	2.9	15	31%	56%	11%	2%	88%	A	3.2					
課題教育	キャリア教育・就労支援の充実	30 キャリア教育の一環として、全校的・段階的「挨拶」の取り組みを進める	13%	63%	19%	1%	4%	76	B	2.8	84	A	2.9	14%	66%	20%	1%	80%	A	2.9	16	39%	39%	18%	5%	78%	B	3.1					
		31 教科指導や日常生活指導、現場実習等を通して、働く力と意欲を身につけさせる	22%	64%	7%	0%	6%	87	A	3	82	A	2.8	24%	68%	8%	0%	92%	A	3.2	17	26%	48%	23%	3%	74%	B	3					
		32 児童生徒の希望や特性に応じた進路指導を進めるために、地域・家庭及び福祉・労働等の関係機関との連携を強める	14%	69%	7%	0%	10%	83	A	2.8	80	B	2.7	15%	77%	8%	0%	92%	A	3.1	18	25%	41%	27%	6%	66%	C	2.9					
		33 進路説明会・進路講演会・進路通信・各家庭との懇談等を通して、適切な進路選択のための情報提供を行う	14%	69%	5%	0%	11%	83	A	2.8				16%	78%	6%	0%	94%	A	3.1	19	25%	55%	17%	3%	80%	A	3					
		34 分教室設置を見据えた県立西宮高校との交流及び共同学習	30%	51%	4%	0%	15%	81	A	2.8	83	A	2.8	35%	60%	4%	0%	96%	A	3.3	20	42%	50%	7%	0%	92%	A	3.3					
		35 学校間交流・居住地校との交流の推進	27%	54%	7%	1%	11%	81	A	2.8	80	A	2.7	30%	61%	8%	1%	91%	A	3.2	21	33%	57%	9%	1%	90%	A	3.2					
課題教育	交流及び共同学習の推進	36 地域との交流活動の推進	14%	60%	10%	0%	16%	75	B	2.6	79	B	2.7	17%	72%	11%	0%	89%	A	3.1	22	68%	28%	3%	1%	96%	A	3.6					